

各位

会社名 みずほアセット信託銀行株式会社  
(コード番号 8404)

### 四半期情報の開示について

当社の平成15年3月期第1四半期(平成14年4月1日から平成14年6月30日)における四半期情報について、お知らせします。

以下に掲げる四半期情報は、経済対策閣僚会議「改革先行プログラム」および金融庁「証券市場の構造改革プログラム」の主旨等を踏まえ、当四半期から任意の会社情報として開示するものです。

(注) 以下に記載する数値は、監査を受けておりません。

#### 1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

		(単位: 億円)	(参考) (単位: 億円)	
		平成14年6月末	平成14年3月末(実績)	【増減】
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		556	651	
	銀行勘定	329	399	
	信託勘定	226	252	
危険債権		1,782	1,947	
	銀行勘定	1,670	1,816	
	信託勘定	112	130	
要管理債権		2,453	2,342	
	銀行勘定	2,129	1,999	
	信託勘定	323	342	
合計		4,792	4,940	148
	銀行勘定	4,130	4,215	
	信託勘定	662	725	

(注) 1. 信託勘定は元本補てん契約のある信託勘定を示しております。

2. 今回の開示に際しまして、上記の平成14年6月末の計数は、内部監査及び外部監査を除き、決算(含む中間)時と同様の方法で集計を行い、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

即ち、平成14年6月末時点で存するすべての債権について、金融庁の「金融検査マニュアル」等に準拠し制定した厳正な「自己査定基準」に則り、営業関連部署がお取引先の信用状況に応じ、5つの債務者区分(破綻先、実質破綻先、破綻懸念先、要注意先、正常先)に区分し、各々の債務者区分毎に担保・保証等による債権の回収可能性を評価したものについて、独立した審査部門が2次査定を行った結果に基づくものであります。

この結果に基づき、「破綻先」と「実質破綻先」を「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「破綻懸念先」を「危険債権」、要注意先に対する貸出金のうち一定要件に該当する「3ヵ月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」を「要管理債権」として開示しております。

なお、上記債権は取立不能見込額につき、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

#### 2. 自己資本比率(国内基準)

	平成14年9月末(予想値)	(参考) 平成14年3月末(実績)
連結自己資本比率	11%程度	10.96%
連結Tier比率	5%台半ば	5.48%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化に伴い変動することがあります。

3. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

	(単位：億円)				(参考) (単位：億円)			
	平成14年6月末				平成14年3月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	11,527	392	364	757	12,081	401	342	743
株式	4,763	373	331	704	4,850	319	320	639
債券	3,980	18	25	6	5,188	2	21	19
その他	2,783	38	7	46	2,042	84	0	84

(注) 1. 平成14年6月末の「評価差額」は、平成14年6月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前）と時価との差額を計上しております。なお、株式については月末前1ヵ月の平均株価に基づいております。

2. 有価証券のほか、コマーシャル・ペーパーを含めております。  
 3. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式は保有しておりません。

4. デリバティブ取引（単体）

(1) 金利関連取引

区分	種類	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)		
		平成14年6月末			平成14年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	金利先物	1,663	0	0	1,350	2	2
	金利オプション	238	0	0	-	-	-
店頭	金利スワップ	145,055	19	19	151,430	18	18
	その他	1,082	7	3	1,283	6	3
	合計			23			25

- (注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。  
 2. その他はスワップション、キャップ・フロアー取引であります。

(2) 通貨関連取引

区分	種類	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)		
		平成14年6月末			平成14年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	2,729	0	0	3,942	0	0

- (注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注2.の取引は、上記記載から除いております。  
 2. 期間損益計算を行なっている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

種類	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)		
	平成14年6月末			平成14年3月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
通貨スワップ	1,344	3	3	2,057	3	3

また、先物為替予約、通貨オプション等のうち、引直しを行なっている通貨関連のデリバティブ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

区分	種類	(単位：億円)		(参考) (単位：億円)	
		平成14年6月末		平成14年3月末	
		契約額等		契約額等	
店頭	為替予約	1,592		1,779	
	通貨オプション	654		858	

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成14年6月末		
		契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	730	4	4
	債券先物 オプション	745	2	0
店頭	債券店頭 オプション	855	1	0
	合計			3

(参考)

(単位：億円)

平成14年3月末		
契約額等	時価	評価損益
448	0	0
765	3	1
-	-	-
		0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、該当ありません。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

(7) ウエザーデリバティブ取引

該当ありません。

以上